

東海市芸術劇場制作

東海市芸術劇場 開館10周年記念

プッチーニ作曲

佐藤美晴 演出

美術:杉浦充 照明:高田政義 衣裳:白井梨恵

オペラ〈原語上演・日本語字幕付き〉

蝶々夫人

孤独の狂気を忍び

孤高の愛に生きる女^{ひと}

舞台美術 杉浦充によるアイデアスケッチ

指揮:クリスティアン・アルミンク 管弦楽:名古屋フィルハーモニー交響楽団

蝶々夫人 田崎尚美
シャープレス 上江隼人
グロー 升島唯博
ヤマドリ 大久保亮
ヤクシデ 安賜勳Johannes
母 小林芙未香
親戚 横山琢哉

ピンカートン 城宏憲
スズキ 林美智子
ボンゾ 増原英也
ケイト・従妹 日比野景
神官・役人 高柳耕平
叔母 家根侑里

2026 **1.30** **金** 18:30開演
[17:45開場]
(21:20 終演予定)

2.1 **日** 15:00開演
[14:15開場]
(17:50 終演予定)

東海市芸術劇場 大ホール

名鉄「太田川」駅南改札口すぐ

※やむを得ない事情により、出演者・内容等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

Ticket 一般

〈全席指定〉

●未就学児入場不可

10,000円

小中高生

1,000円

ユウナアルフレンドメンバーズ

ブラチナ会員割引価格

一般 9,000円

小中高生 900円

発売日(両日共通)

先行 9月14日[日]9:00～

●ユウナアルフレンドメンバーズブラチナ会員対象

一般 9月21日[日]9:00～

●チケットぴあの初日は10:00～

チケット
取扱い

◆芸術劇場事務局 9:00～20:00 ※休館日除く

◆芸術劇場HP 24時間受付 ※発売初日は9:00～
<https://www.tokai-arts.jp>

■会員登録(有料または無料)が必要です。■電子チケットもご利用いただけます。

◆チケットぴあ[Pコード 288-574] <https://t.pia.jp/>

■9月21日(日)10:00から発売開始



12/6(土)にはプレ・トークイベント、本番開演前にはプレ・コンサートも予定しています。詳細は、劇場ホームページやチラシ裏面にてご確認ください。

お問合わせ

東海市芸術劇場
TOKAI CITY ARTS THEATRE

〒477-0031

愛知県東海市大田町下浜田1016番地

TEL 0562-38-7030

主催 | 東海市・東海市教育委員会
助成 | 一般財団法人地域創造



公式エックス
@tokai_theatre



公式ホームページ
<https://www.tokai-arts.jp>

【お車でご来場のお客様へ】地下駐車場または太田川駅東公共駐車場をご利用ください。(施設ご利用者は入庫から2時間まで無料)

託児サービス | [1歳以上の未就学児、定員10名]公演日の1週間前までに劇場事務局または劇場HPにてお申込みください。

館長兼芸術総監督おすすめコメント

当劇場が開館して10周年、お蔭様で連日多くの方が文化芸術活動等でご利用下さり、劇場内は活気に溢れています。私もこの節目には地域の皆様に新しい体験を提供したいと前々から計画しておりました。それが演出、舞台美術、オーケストラ演奏等全て揃った本格的なオペラ上演です。演目はオペラ初体験の方も含め何をお届けするのが良いか熟考し、日本が舞台で世界的に人気が高い「蝶々夫人」を選びました。このオペラは個人的にも昨年亡くなった指揮者・小澤征爾さんとの関わりの中で縁有る作品で思い入れがあります。残念ながら生前小澤さんが当劇場に来る事は叶いませんでしたが、(指揮が教え子のクリスティアンという事も含め)この上演を喜んでくれていると思います。演出の佐藤美晴さんはじめスタッフ、キャスティングも最上のもとなりました。是非劇場でご鑑賞ください。

東海市芸術劇場 館長兼芸術総監督 安江正也

Story

明治時代の長崎、蝶々は周囲の反対を押し切り、アメリカ海軍士官のピンカートンと結婚し親族、友人の前で式を挙げた。

二人で甘い時間を過ごし、蝶々の幸せの絶頂も束の間、ピンカートンは蝶々を残し再びアメリカへ。

生まれた子と共に愛するピンカートンの帰りを只々信じて待ち続ける蝶々、時は3年が流れた。そしてある日、港にアメリカからの軍艦が到着するが...



演出 佐藤美晴

演出作品に東海市芸術劇場市民音楽劇《時のおくりもの》、日生劇場/びわ湖ホール《魔笛》、東京芸術劇場《こうもり》、NHK音楽祭/N響《ドン・ジョヴァンニ》、北とぴあ国際音楽祭《ドン・ジョヴァンニ》《リナルド》、ウィーン・アルヒェ劇場《少年の不思議な角笛》等がある。第23回五島記念文化賞オペラ新人賞(演出)受賞。2019年まで東京藝術大学特任准教授、東京大学先端科学技術センター特任/客員研究員をつとめた。現在はウィーン在住。

美術:杉浦充/照明:高田政義/衣裳:臼井梨恵/舞台監督:酒井健/ドramatouk:荒井風香
演出助手:磯田有香/ヘアメイク:小木曾浩美/所作および振付指導:伊奈山明子
プロダクションマネージャー:關秀哉/アシスタント:竹内由紀子、岡崎彩音



ピンカートン 城 宏憲

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁の助成を得て渡伊。帰国後、サトウ・キネン・フェスティバル「合唱幻想曲」でソリストデビュー。二期会では『イル・トロヴァトーレ』『トスカ』『椿姫』『トゥランドット』『ドン・カルロ』等でプリモテノールを務める。新国立劇場『さまよえるオランダ人』『エリック』『蝶々夫人』『ピンカートン』、日生劇場『ルチア』『エドガルド』『メデア』『ジャゾーネ』(日本初演)、兵庫県立芸術文化センター『ドン・ジョヴァンニ』『ドン・オッターヴィオ』など話題の公演で活躍。「第九」をはじめコンサート・ソリストとしても活躍。二期会会員。



スズキ 林 美智子

新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際トロブローロス声楽コンクール最高位、第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。新国立劇場等を中心に数多くのオペラに出演、国内外の指揮者と主要オーケストラにも共演を重ねる。自らオペラをプロデュースするなど人気、実力ともに日本を代表するメゾ・ソプラノ。CDは『地球はマルセイユ〜武満徹:SONGS〜』など3枚をリリース。大阪音楽大学特任准教授及び日本大学芸術学部声楽講師。



蝶々夫人 田崎 尚美

東京藝術大学卒業。同大学院及び二期会オペラ研修所修了。二期会『パルジファル』クンドリでデビュー以降、『サロメ』『トゥランドット』表題役、『タンホイザー』エリーザベト、日生劇場『ルサルカ』表題役、『マクベス』マクベス夫人、新国立劇場『さまよえるオランダ人』『ゼンタ』、びわ湖ホール『ばらの騎士』元帥夫人等を演じ、その声と高い表現力で常に高い評価を得ている。また、コンサートでもヴェルディ「レクイエム」、マーラー「交響曲第8番」等のソリストとして活躍。NHKニューイヤーオペラコンサートなどにも出演。二期会会員。



シャープレス 上江 隼人

東京藝術大学卒業、同大学院修了。05年に第34回(財)江副育英会オペラ奨学生として、08年に明治田園クリオティブ財団の奨学生として渡伊。06年ディマロの「Val di sole」イタリア音楽コンクール優勝。藤原歌劇団には、19年「ラ・トラヴィアータ」のジェルモンで初登場し、25年「ファルスタッフ」ファルスタッフ等に出演し高評を博す。国内外で高い評価を得るバリトンの逸材として、注目を集めている。第24回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。東京藝術大学音楽学部准教授。藤原歌劇団団員。



グロー 升島 唯博

エリザベト音楽大学卒業。渡独後、デトモルト音楽大学、リューベック音楽大学大学院を最高点で修了。プレーメン歌劇場、ハンブルク州立劇場等ドイツ各地の劇場に多数出演。『フィデリオ』『ヤキーンノ』『フィガロの結婚』『クルツィオ』『ばらの騎士』『ヴァルツァック』『魔笛』『モノスタス』『蝶々夫人』『グロー』等多彩な役を演じているほか、「メサイア」、「マタイ受難曲」、「第九」等のコンサート・ソリストとしても活躍。二期会会員。



ボンゾ
増原英也



ヤマドリ
大久保亮



ケイト・従妹
日比野景



ヤクシデ
安賜勳Johannes



神官・役人
高柳耕平



母
小林美未香



叔母
家根佑里



親戚
横山琢哉

東海市民合唱団【合唱指揮:横山琢哉】 東海児童合唱団【指導・指揮:磯部和恵】 東海市ダンスチームMiakot【指導:NAO/Mami(Memorable Moment)】



指揮 クリスティアン・アルミンク

ウィーン生まれ。ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場の音楽監督などを経て、2003〜13年に新日本フィル、2011〜19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任した。

管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団

日本有数のオーケストラの一つとして、愛知県名古屋市を中心に東海地方の音楽界をリードし続け、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。地元では「フィル」の愛称で親しまれ、川瀬賢太郎音楽監督のもと意欲的なプログラミングの定期演奏会をはじめ、バラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演している。

副指揮:伊藤翔 コレペティートル:小笠寺美樹、山本敦子

プレトーク・イベント

プッチーニが認めた“蝶々夫人” —海を渡ったオペラ歌手・三浦環—

2025年12月6日(土) 15:00~16:00 | 芸術劇場 多目的ホール

出演:大石みちこ(脚本家・東京藝術大学大学院教授)

入場無料
(要入場整理券)

◆9月14日(日)9:00より劇場事務室にて入場整理券を配布します。

※整理券は、お一人様2枚まで。全席指定(席は選ばせません) ※未就学児入場不可

【開演前プレ・コンサート】

2026年1月30日(金) 18:15~ | 芸術劇場 大ホール
2月1日(日) 14:45~

出演:東海市子どものオーケストラ 指揮:クリスティアン・アルミンク
(指導:名古屋フィルハーモニー交響楽団/伊藤翔)
曲目:マスカニー/カヴァレリア・ルスティカーナより間奏曲